

東京都後期高齢者医療保険料の特別対策について

1 概要

東京都後期高齢者医療広域連合では、保険料を抑制するため、「特別対策」として市区町村の一般財源を投入してきた。当初は「2年間に限り」実施することとしていたが、その後も市区町村に対する意向調査の結果、継続されてきた。

しかし近年においては、一部の市区町村から特別対策の見直しを検討すべきという意見も出てきている。

2 今後の検討について

このような状況を踏まえ、東京都後期高齢者医療広域連合協議会幹事会において市区町村のブロックを代表する部課長が集まる機会を活用して、今後の保険料率算定における特別対策のあり方を検討する会議体として、「東京都後期高齢者医療広域連合保険料率算定・特別対策検討会議」（以下「検討会議」）を設立した。

3 会議の構成

別添要綱のとおり

4 検討会議スケジュール（暫定案）

第1回	令和5年10月	特別対策導入の経緯、推移、法的根拠の確認等
第2回	令和6年1月	特別対策を廃止する場合のシミュレーション
第3回	令和6年6月	第1回、第2回の振り返り
第4回	令和6年10月	令和8・9年度保険料算定に向けての論点整理
第5回	令和7年1月	検討会議としての結論を整理